

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都市 】

1 実践テーマ	【 III・V 】
2 実施対象者	京都市立 竹田小学校 第6学年 62名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (特別活動, 総合的な学習の時間)
4 目標 (ねらい)	パラリンピックで行われる種目である車いすバスケットボールの選手と交流することを通して、障害のある人が行うスポーツやオリンピック・パラリンピックについての興味や関心を高め、障害のある人たちの思いや願いを知り、自分にできることを考え、生活に生かそうとする。
5 取組内容	<p>(1) 本校の学習単元における位置付け</p> <p>本校では、6年生の総合的な学習の時間に、「生き方について学ぼう」を行っている。また、人権学習（キズナ学習）の7月の課題は、「障がいのある人にかかわる学習」を行っている。この両方の学習に絡めて、1時間目は車いす体験と車いすバスケットボール体験を行い、2時間目は、総合的な学習の時間に位置付け、選手による講演を聴いて、生き方について学ぶ学習として行った。</p> <p>(2) 授業の様子</p> <p>①「車いすバスケットボールの選手と交流しよう」</p> <p>選手の自己紹介のあと、体育館で、一人一人が競技用車いすに乗って、リレーをした。途中でコーンの周り一周するところが子どもたちにとっては難しいようであったが、全員が競技用車いすを自分で操作することができた。その後、各クラスの代表が車いすバスケットボールの試合を行った。選手がそれぞれの対戦チームに入って、パス回しをリードして下さり、思っていた以上にうまくゲーム運びが進んだ。試合に参加しない児童は、観戦にまわったが、攻守の切り替わりが早いゲーム展開に大興奮しながら応援していた。白熱した会場には、シュートを放つ毎に大きな歓声が上がった。</p>

活動内容	
5月	生き方について学ぼう(総合) ○【総合】「夢に向かって努力している人から話を聞こう」 ・パワーリフティング元ジュニアチャンピオン西田万留々さんのお話
6月	○【キズナ学習(学活)】障がいのある人にかかわる学習 ・国枝慎吾さんの心の強さについて考えよう！
7月	○【総合】「車いすバスケットボールの選手と交流しよう」 ・1.競技用車いす体験をしよう(学活) ・2.車いすバスケットボール選手の話を知ろう(総合)
10月	○【総合】さらに、いろいろな仕事をしている人から話を聞こう ・中国人留学生と交流しよう
11月	・学校医さんからの話を聞こう
12月	・プロダンサーの仕事を知ろう
1月	・民族学級の先生からお話を聞こう
2月	・AED体験をして救急救命士の仕事を知ろう 等
2月	○【総合】将来の仕事について具体的に考え、自分の夢を語ろう。



